

旭川歯科医師会便り

Vol.57



事務局／旭川市金星町1丁目1-52 道北口腔保健センター内
☎(0166)22-2361

<http://www.ahmic21.ne.jp/kyokushi>

●●● 歯周病の危険性・喫煙者は2～9倍大きい ●●●

みなさん、歯周病と喫煙は深いかわりを持っていることをご存知ですか。喫煙者では歯周ポケットの深い部位が多く、歯を支えている骨の吸収が大きく、ことに高齢者ではこの傾向が顕著です。歯周病における喫煙者は、非喫煙者と比較して、危険性（リスク）が約2～9倍大きいことが明らかにされています。

禁煙すると危険性が低下

元喫煙者のリスクをみると、その値はおおむね2倍と、現在喫煙している者のリスクより低く、禁煙すると歯周病のリスクは低下することが示されています。

また、長期間の喫煙は歯やその周囲に、黒褐色のタールなどの汚れを付着させます。歯が着色することはもちろん、ヤニがつくと歯の表面がザラつき、歯周病の原因である歯垢・歯石を付きやすくします。

また、ニコチンなどの物質は、血液の循環機能に障害を引き起こし、歯肉への酸素供給量を少なくするため、歯肉を低栄養状態に陥らせたり、細菌を殺す白血球の機能を著しく低下させることにより、免疫機能を低くしたり、歯肉の炎症や治療を受けた部分の治り具合が悪くなることなども知られています。

歯周病があると糖尿病が悪化

最近では、歯周病があると糖尿病が悪化し、歯周病が治ると糖尿病が軽減することから、歯周病が糖尿病の原因の一つともいわれています。歯を失う原因である歯周病にはかかりたくないものです。歯周病予防には「かかりつけ歯科医」を持つことが必要です。

歯周病予防には「かかりつけ歯科医」を持とう

ところで、かかりつけ歯科医を持つ意義は何かというと、一つ目は予防から治療まで、あるいは病気や障害になっても往診も含めて「幅広い対応」をしてもらえることです。二つ目は今後も「継続して診療」してもらえることです。その他にまだいいことがあります。

歯周病ケア普及歯科健診のお知らせ

～生涯おいしく食べるために、歯周病ケアをはじめましょう～

- 対象者** 満40、50、60、70歳の旭川市民で、職場等で歯科健診を受ける機会のない方。ただし、治療中の方は対象としません。
- 内容** 歯周病の検査、結果票の説明と交付、歯周病の予防・改善のための保健指導
- 料金** 500円（自己負担免除の対象は、旭川市がん検診及びミニドックと同様です。）
- 受診場所** 歯科医師会に加盟する多くの歯科医院で実施しています。（詳細：下記）
- 受診方法** 希望する医療機関にあらかじめ電話で「歯周病ケア普及歯科健診」を受けたい旨を伝え、時間等を確認しご予約下さい。受診時は、健康保険証などの住所、氏名、生年月日がわかるもの、料金が免除になる方はその証明書を持参下さい。

◎受診場所及び自己負担免除の詳細は市役所・支所等にある本事業PRチラシをご覧ください。か、旭川市保健所健康推進課健康推進係（☎26-1111内線2952）までお問合せ下さい。